

# たんぽぽ うしん

第10号

〔編集人〕 社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫  
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887  
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp  
〔発行人〕 北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕 2012年1月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕 20円



北欧のノーマライゼーション理念に学び、ジェントルティーチングを  
実践理念とし、札幌協働福祉会は、歩んで来ました。障がいのある人もない  
人も、地域でともに生きる社会をめざし、拓北・あいの里を優れたノーマラ  
イゼーション地域にするために、2012年を、更に着実に歩み続けましょう。

札幌協働福祉会総合施設長 辰田 収

年頭に当たり、面白いエピソードをご紹介します。

**<デンマークの協力者>** 昨年11月、デンマークの星野良美さんが来た。彼はデンマークの知的障がい者施設に勤務し、1995年デンマークの障がい者支援を理想としたアクティビティセンターの開設を知り、デンマークから駆けつけてくれた。あいの里に1カ月滞在し、様々なアドバイスをくれた。その後アクティビティの職員をデンマークに研修に送った時、支えてくれたのである。

**<あのアクティビティは？>** 星野良美さんは、創設者・宮野英隆が打ち上げたデンマーク型障がい者福祉のスローガンをかかげた札幌協働福祉会の「あの誇大広告がどうなったか」気がかりだった。彼は、昨年秋、デンマークで定年退職を迎え、時間が出来た彼は、デンマークを理想としてあいの里で始めた協働福祉会はどうなったか、はるばるデンマークからあいの里にやってきたのである。

**<確実に北欧型が進んでいるゾ>** この16年の間に、協働福祉会はグループホーム等地域在住者が100名を越え、障がい者事業所に250名の利用者が活動する法人に成長していた。更に児童等の支援も進み、乳児から成人まで支援する仕組みが出来た。拓北・あいの里連合町内会等の地域の暖かい支援に支えられてきた。星野さんは、なるほどこれはデンマークと同じだ、よく出来たものだ、と感慨深く語ったのである。

1995年創設時に協力会牧野会長・宮野英隆等数名で法人理念のノーマライゼーションを、分かりやすく表現した文(詩?)を作りました。ご一読ください。(法人パンフレット掲載)

自然に自分らしく暮らす  
さまざまな人々と広く関わり、心豊かな人間関係を築く。  
他者の価値を尊重し、お互いを高めあう。

そんな人間らしい生き方を  
障がいのある人もない人も  
ともにもてる社会にしたい。

私たちは今日もその夢を描き続けています。

## 行事予定

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 1月21日(土)10:00～ あいの里協働保育園新設説明会 場所:拓北・あいの里地区センター
- 2月22日(水)～25日(土) 沖縄旅行
- 3月2日(金) 第8回 拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会 場所:拓北・あいの里地区センター

2012

札幌協働福祉会主催

## ニューイヤーパーティー

◎日 時:1/28(土) 12:00～15:00

◎場 所:拓北・あいの里地区センター

(北区あいの里1条6丁目  
TEL 011-778-8000)

## あいの雪まつり

◎日 時:2/11(土)14:00～

## 第12回 輪投げ大会

◎日 時:2/16(木)13:30～

場 所:拓北・あいの里地区センター

毎年恒例の  
お楽しみ「抽選会」  
もあります!

# 2012年の抱負

「辰」年生まれの利用者さんスタッフさんに2012年の新年を迎え今年の抱負を伺いました。

## ■田中裕輔さん(学園通りあくていぶ)

「ユーザー職員を目指す。与えられた仕事をきちんとやる。新しい生活が出来る様にする。

給料を多くもらえる様に努力する」

昨年の反省点「ちょっと休みが多すぎた」

## ■小坂裕介さん(学園通りあくていぶ)

「今年は取れたら危険物免許を取りたい、あと、車の免許も取りたいと思います」

昨年の反省点「園芸作業でいつも怒っていたので…、ながいもを取りに行ったときスタッフを怒りながら注意をしてしまいました。そこが自分の今年の反省点です」

## ■牧野智宏さん(サポートセンター)

「今年はパークゴルフの大会でタイトルをねらいます」

## ■早坂清花さん(アートセンタースタッフ)

今年の抱負を伺うと「今年は体力づくりを考えています、自転車通勤の復活を含め…」と省エネ型社会を目指した発言内容でした。また学生時代から続けている落語研究活動については現在も様々な会場を舞台に歯切れの良い語りを披露されているとの事でした。

## ■中村知尋さん(エルドラードスタッフ)

「職場では今年も笑顔で頑張ります」また、休日は「ゴルフデビューも考えています」と笑顔で話して頂きました。

## ■田中睦美さん(第3むうスタッフ)

2012年の新年を迎えた3日、仕事始めで階段を踏み外し転倒、右腰を強く打ってしまい骨折。そんな田中さんの今年にける言葉は「ケガに十分注意する」の一言でした。

## ■大谷裕香里さん

(アクティビティーセンター)

昨年11月、体調を崩し約1週間の入院を経験した大谷さんは「今年は健康に十分注意して頑張りたい」さらに「新体系移行にあたり職員一同で取り組み頑張りたい」と抱負を述べました。



11/26(土)

～ 27(日)

## 職員全体研修

札幌協働福祉会では11月26、27日の両日「拓北・あいの里地区センター」を会場に職員研修会が開催されました。

研修は、法人関係者約180名が二日間に分かれ受講しました。内容は職員の日常作業の一つである利用者さんへの支援記録作成について、今回は2時間という限られた時間でしたが講師の石井光恵氏が大変分かりやすくご指導くださいました。

年々、規模の拡大が進む札幌協働福祉会はこれまで各事業所がそれぞれに行っていた支援記録などの文書記録について書式の統一など



講師の石井光恵氏



共通の意識の基に整理する必要が出てきました。

今回の研修会は法人にかかわる人たちへ記録・文書作成のステップアップを目指し開かれました。参加者はメモをとりながら講師の内容を聞いていました。

# 新設

# あいの里協働保育園

## ＊開園にあたって＊

平成24年4月1日から南あいの里に定員60名で「あいの里協働保育園」を開園することとなりました。厚別区もみじ台にある「協働保育園」に続く2園目の開園となります。一人ひとりのこども達が、のびのびとその子らしい生活が出来るよう務めてまいりたいと思います。また、拓北あいの里地区のみなさまにも様々な場面でご協力をいただいたり、あたたかく見守っていただけたら幸いに思います。皆様どうか宜しくお願いいたします。  
(園長予定者 村山雅子)

園内平面図



社会福祉法人 札幌協働福祉会

## あいの里協働保育園



## こどもと親と職員がともに育つ保育園に

所在地 〒002-8901 札幌市北区南あいの里5丁目34-3

TEL 011-897-5033

(建設中の為札幌協働保育園につながります)

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>



## 年間スケジュール

毎月の行事  
お誕生会・お弁当日  
避難訓練・美術教室

## こどもの目・春の遠足

春



もちつき  
クリスマス会  
新年お楽しみ会  
節分  
ひなまつり  
お別れ会  
卒園式

## 保育園紹介

設置主体：社会福祉法人 札幌協働福祉会  
定員：60名  
職員構成：園長・主任保育士・保育士・調理師  
調理員・用務員・嘱託医  
開所時間：7:00～18:00  
延長保育：18:00～19:00  
休園日：日曜日、祝日、年末年始



## 保育の目標

### やさしくあふれる元気な子

当園のある拓北・あいの里地区は、北区のはずれに位置しており、町の中では見られないカラカネイトトンボが生息する湿原をはじめ緑豊かな自然が周りにたくさんあります。

芸術モニュメントもある公園で知られるモエリ沼公園、また自然農園や体験コーナーがある“さとらんど”などがあります。

多くのものや人と触れ合い、生きる優しさを感じのびのびとおおらかな環境の中で、こどもたちを心身ともに健やかに育てていきたいと思っております。

## 給食

札幌市の統一献立表をもとに園内で調理しています。札幌市の保育所運営費では、0～2歳児は完全給食、3歳児以上は副食のみの給食ですが、あいの里協働保育園では保護者の便利さと、全園児が同じ物を食べられる様に保護者の方に主食費(月1,700円予定)を負担して頂いて、3歳児以上も完全給食を実施します。



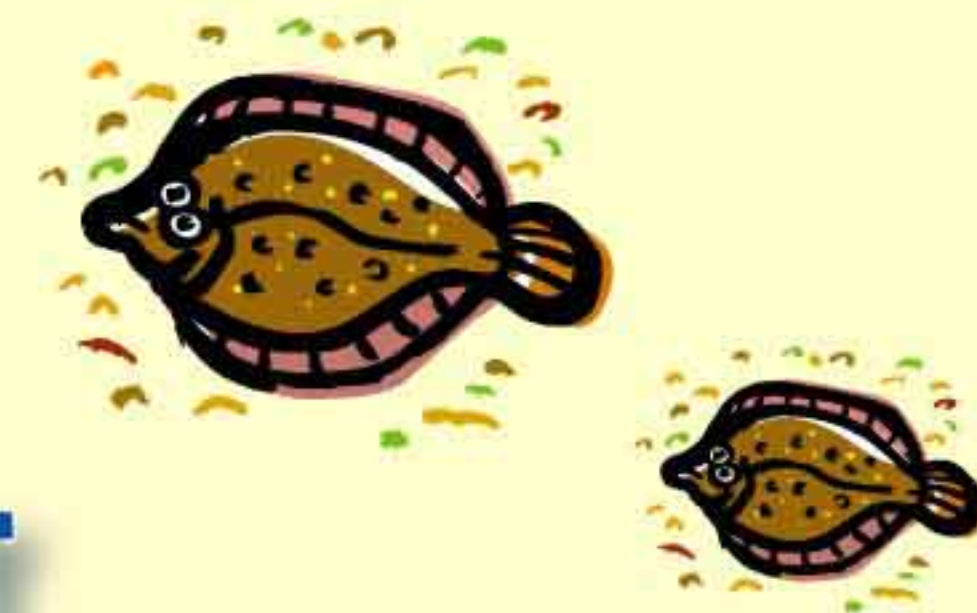
## 一日の流れ

0歳児	1歳児	2歳児以上	7時～10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時～19時
登園	自由あそび	登園	自由あそび	おやつ	授乳	離乳食	睡眠	おやつ	自由あそび	お迎え順に降園	延長保育
				自由あそび	授乳	離乳食	睡眠	おやつ	自由あそび	お迎え順に降園	延長保育
				自由あそび	授乳	離乳食	睡眠	おやつ	自由あそび	お迎え順に降園	延長保育



2011年  
11月～12月

# イベント報告コーナー



12/3(土)

## 児童デイ・療育センター 合同ふれあい交流会

毎年、恒例になっております、ふれあい交流会をむう(夢)・第2・3・4むう(夢)・たくあい療育センター響・エルドラードの合同で開催しました。

今回は趣向を変えて、大お餅つき大会を行いました。木の臼に石の臼もあって、子どもたちも大喜び。何回もいろいろな臼を回ってお餅ついているお子様もいました。片栗粉でお餅を丸めて会場もお友だちも真っ白です。

お餅つきはとてもスタッフだけでは準備できず、鴻城小学校「おやじの会」様のご協力のもと大盛況で開催することができました。

阿波踊り「五郎連」の方々にも会場を盛り上げていただき、大変感謝です。

<報告:第2「むう(夢)」 新田 貴博>



おいしい!



顔も真っ白!



12/10(土)

## 2011合同忘年会



2011年12月10日(土)午後、札幌協働福祉会の「2011合同忘年会」が拓北あいの里地区センターで開催されました。

会場は同法人の利用者さん、そしてご家族、さらに地域の皆さん約290名が集まり、福島県から来札の女性シンガー、ユーニーさんのライブやジャンケン大会等で楽しい一時を過ごしました。



みんなでカンパニー!



テーブルを囲み楽しい宴が繰り広げられました



ユーニーさんのライブで盛り上がる2階会場



会場の全員が参加して「ジャンケン大会」

11/19(土)  
～20(日)

## 浦河町 釣り&パークゴルフの旅

11月19、20日の両日、日高管内の浦河町と様似町を巡る「釣り&パークゴルフの旅」が行われました。初冬の日高路は参加した約70名の皆さんを心温かく迎え入れてくれました。浦河港では初日にタカノハカレイ、翌日には形の良いアブラコが釣れ、岸壁は皆さんの明るい笑い声であふれました。



大きなアブラコを釣上げた  
澁谷さん(写真・右)



タカノハカレイを釣上げた  
鈴木隆さん(写真・右)



楽しい食事風景

12/23(金)  
～25(日)

## 熊石釣り旅行

12月23～25日の3連休を利用して札幌協働福祉会では道南の八雲、せたな町の日本海を回る「釣り旅行」を開催しました。今回の釣り旅行は天候に恵まれず、日本海上で発達した低気圧の影響をまともに受け、行く先々で横殴りの強風、地吹雪に悩まされました。期待した釣果はありませんでしたが、初日、2日目と夕食はともに楽しい宴となりました。

24日のクリスマスイブには夕食を終えた皆さんにケーキが配られ思い出に残る楽しいイブとなりました。



せたな町の国民宿舎「あわび山荘」にて



クリスマスイブの夕食風景



カラオケで  
盛り上がるみなさん♪



今回、唯一「ナマコ」を  
釣上げた磯江繁芳さん

<イベント報告:田村 隆>

## 第7回 拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会より

横田 優さん (写真・右)  
横田 麻美さん (写真・左)



開催: 2011年10月9日(日) 拓北・あいの里地区センター  
主催: 拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会

### 原発の被災地の中で

～福島県からの報告～ 横田 麻美さん

私は郡山市で三階建のビルが一番上で喫茶店をしております。3月11日はお客様の携帯メールがみんな一斉に鳴り出し、同時に地震が発生しました。すごい強い地震揺れで、ガラスづくりの店のガラス全部が下に落ちました。10分は続いたと思います。心配で息子に電話しようとしたら電話はパンク。3階から階段で降りようと思っても結局は余震がずっと続いて動けない状態でした。

3月12日は喫茶店の仕事の関係で後片付けに行ったあと、ラジオで緊急報告が入って原子炉が爆発しましたっていう放送内容でした。水素爆発でした。その時たまたま店の片付けを一緒にしていた人が、そういうことに詳しい人で、爆発だとしたら200キロ圏内アウトですっていう言葉を出され、二人で青ざめてしまい、それこそ帰りに生きていたら会いましょうねって言って、別れました。

その後、半径10キロ圏内20キロ圏内の避難指示が出て、自分たちが住んでるのは65キロなので大丈夫だって強調されましたが、今ではマスク帽子着用は毎日当たり前になり、外での行動は本当にいっぱい制約が出ています。街の中の小学校なんて当たり前1クラス2クラスの方々が避難されたり、33万都市郡山なんですけど今26万人になったそうです。それぐらいの方々がどっかに避難して、残ってる人達は、住んでるところがどんな状況か分かっていながら上手に付き合っていくしかない人達です。

福島での暮らしは、普通に動いています。避難したいけれど避難できない人達です。ローンがあったり、先立つものがない、会社での地位があ

ったり、仕事を休めなかったり避難したくてもできない。逆に避難する人達を非難する状況です。一番心配していることは、子ども達のこれからのこと。これから先結婚とかを考えた時福島県の人を嫁にもらわないんじゃないか、結婚してくれないんじゃないとか等々の心配を、仕事柄若い女の人達からよく言われます。

これから本当に出てくることは食べ物のことです。今は新米が美味しくってっていう時期なんですけど郡山は200ベクレルが今年の米の基準らしいんですけど、チェルノブイリで4から5だっけ聞いて、200ベクレルって話になると何倍よって話なんですけど、それが200ベクレル以下だから出荷していいよって形で、出荷制限は今郡山市内の米はなってない、みんな200ベクレル以下だという。そういう心配があって北海道のお米が良いっていうのもあって、今回ちょっと来させていただいたんですけども。

原発事故が起きてしまっただけで仕方がない、ただ被害は最小限にしないといけないと思っ毎日生活しています。隣の県に那須って処があって、ここに福島県ナンバーの駐車場があり放射能検査ができて、最初の頃は笑い話で、福島県で自分たち放射能県民になるんだよねって話してたんですけど、今本当にそんな状況になって悲しい思いをしています。放射能って見えないから臭いもしないし、こちらの生活と同じように生活しているのが本当に現状なので、多分びっくりされるかと思うんですけど、親からすれば子どもだけ避難はさせたいってのは本当の気持ちで、それがずっと変わってないですね。

「おもいきり夏休みin北海道」で23日間、あいの里～北海道に来た福島県郡山市の横田優さん(中3)とお母様・麻美様がたまたま10月10日に来札したので拓北あいの里ノーマライゼーション研究会「第1部～東日本大震災と拓北あいの里～」で特別報告していただきました。紙面の都合で報告は要旨となっております。(文章責任・辰田)

2011年  
11～12月

# 災害ボランティア派遣報告

## 宮城県石巻市での支援活動

### 石巻市での3週間を通して

11月9日から11月30日まで、東日本大震災の中で最も被害が大きかったとされている宮城県石巻市で、移送支援という形のボランティア活動を行ってきたので、その報告をさせていただきます。

細かなことは省きますが、数値的に見ると、この三週間近くの間でおよそ150件の移送支援を行なって来ました。利用者さんには高齢の方や障がいのある方が多く、利用方法としては仮設住宅や自宅からの通院の支援、買物の支援などの往復が約8割を占めました。

特に仮設住宅に関しては、運良く抽選で入れたとしても地元とかけ離れた、全く土地勘のない場所に入居することになった利用者の方も多々見受けられました。

北海道に住まわれている皆さんなら、冬の寒さを身に染みて理解されているとは思いますが、これから冬を迎えるにあたり暖房設備も満足に設

11月9日～30日



津波の被害を受けた石巻市魚町(写真・右)と市街地の建物

置されていない仮設住宅などで、被災した年を過ごされる方々の心中は察するに余りあるものがあります。この度の移送支援を通して物質的な支援の他にも、被災された方々の精神的な支援の必要性も感じました。

このような形でボランティア活動に参加させていただいたこと、またボランティアの機会を与えてくださった方々に感謝すると同時に、一日も早い被災地の復興を心より願っております。

(あいのさとアクティビティーセンター 高橋 一慶)

### 被災地に行って

私は今回約2週間の期間にわたり、宮城県石巻市へ移動支援ボランティアをいに行かせていただきました。

市街地では復興が進んでおり、あまり違和感のない状態でしたが、海沿いの町に行くと、その景色は一変しました。家があったと思われる所には土台だけが残り、ほぼ更地になり、日和大橋を超えた先には津波によって流されてしまい、もう使用できない車置き場があったり、中央分離帯には工場の油を貯めておいていた11mもの大きな缶詰が車線をふさいでいたり、2階建の建物以上の高さの瓦礫の山など、日常ではありえない光景がありました。

また、石巻市では仮設住宅が市内からとても離れた所に多くあり、移動支援が少なく、また仮設

11月22日～12月8日

住宅付近からのバスも1日3本しか走っていないという状況で、1ヶ月のタクシー代だけで30万円もかかってしまっていた利用者さんもおり、移動支援ボランティアがあつてとても助かっていると感謝されました。また、ボランティアはいつまでも続けて行われるのではなく、いつかは終わってしまうものであり、ボランティアが終わった時に対策が立てられていなければ、仮設からの通院が難しくなってしまう状況になってしまうと言った声も利用者さんから言われました。

今回石巻市に行って、普段では関わることでできない活動に参加させて頂き、地元の人々の声を聞く事が出来ると言った貴重な体験・勉強が出来たと感じています。

(学園通り あくていぶ 遠藤 公也)

市内配達  
無料です!

自然志向の店 **あくていぶ**

— 2月のお買い得品 —

創建社

◇長崎みそ  
(1kg)

735円 → **595円**



サンコー

◇ミニバウム  
クレーヘン

(8個入) 378円 → **328円**



桜井食品

◇パン粉

(200g) 260円 → **211円**

アレッポ

◇オリーブオイル石鹸 (200g)

514円 → **446円**



エキストラ40(180g)

790円 → **684円**

- 第1・3木曜日は、店内全品5%割引デー
- 毎週木曜日11:00~12:00
- 「JRあいの里教育大駅」にて販売会実施

自然志向の店  
**あくていぶ**

■営業時間 平日・土曜 9時30分~17時30分  
日曜・祝日 定休日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1 (歩道橋すぐ横)  
TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375



## 札幌協働福祉会ブログ紹介<抜粋版>



イベント情報・各事業所紹介等の情報が満載のホームページです。  
日々更新いたしておりますので、ぜひご覧になってください!

◎ホームページ

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp>

◎お問合せメールアドレス

[info@sapporo-kyoudoufukusikai.jp](mailto:info@sapporo-kyoudoufukusikai.jp)

12/26(月)

【ドリームセンターブログより】

### 開所日

スタッフの原田  
新嗣です!

12月17日の開  
所日では、バス  
にてホテルバイ  
キングへ行きました!

場所は、ポールスター札幌です。  
バイキングのメニューも豊富で、とてもおい  
しかったで~す♪

途中で出てきたケーキがまた絶品でした☆  
事業所では、見られないユーザーさんたちの  
表情が見れました。

みんな満面の笑みでした!



1/4(水)

【あくていぶブログより】

### 2012年の仕事始めです

4日(水)午前、協働福祉会の各事業  
所はこの日、2012年の仕事始め  
を迎えました。

「学園通りあくていぶ」では施設回  
りの除雪、そしていつも利用する  
歩道橋の階段の除雪が今年の仕事  
始めになりました。

12/10(土) 【協働保育園ブログより】

### 札幌協働保育園で 恒例の「餅つき」

12月10日(土)午前、札幌協働  
保育園で園児や父母らが集まり  
楽しい「餅つき」が行われました。  
園児のお父さん、お母さんも力  
強く杵を持ち上げ餅をつきました。



## HSK たんぽぽうしん 第10号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻478号  
[発行] 2012年1月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円  
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会

アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野秋夫  
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3  
TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887

[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子  
〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
TEL:011-736-1724

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAX  
にて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティ・サポートセンター協力会  
TEL011-792-3969  
FAX011-792-2887 (福田、松岡)